

第1回貴志川流域水害対策協議会

議事概要

日 時：令和 8 年 7 月 6 日（月） 14:30～15:40

場 所：紀の川市役所 本庁舎 5 階 501大会議室(web併用)

出席者：上柏 卓弥（代理）（和歌山県 技監）

吉田 哲雄（代理）（和歌山市 都市建設局長）

石原 寛也（代理）（海南市 まちづくり部長）

岸本 健（紀の川市 市長）

中芝 正幸（岩出市 市長）

小川 裕康（紀美野町 町長）

中阪 雅則（かつらぎ町 町長）

南木 芳亮（代理）（高野町 副町長）

松岡 直樹（代理）（九度山町 地域防災課長）

坂頭 徳彦（有田川町 町長）

福渡 隆（代理）（近畿地方整備局 部長）

河野 健一（代理）（近畿財務局和歌山財務事務所 管財課長）

米田 幸生（代理）（近畿環境局 地域適応推進専門官）※WEB参加

西野 徳康（近畿農政局和歌山平野農地防災事業所 所長）

一阪 郁久（近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所 所長）

上野 康史（近畿中国森林管理局和歌山森林管理署 署長）

相澤 竜哉（気象庁和歌山地方气象台 台長）

小谷 哲也（近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 所長）

1. 議事概要

○貴志川流域水害対策協議会規約(案)について、承認された。

○令和9年春頃を目標に、流域水害対策計画を策定・公表するスケジュールが合意された。

2. 主な意見

○かつらぎ町（中阪町長）

- ・流域対策を推進するうえで、貴志川の上流から下流まで一貫した考え方はあるか。
- ・丸栖地区等の浸水は下流部の対策だけでは対応できないため、上流部・中流部も協力する必要があると理解している。町内にある耕作放棄地の有効利用も可能性の一つと思う。
- ・貴志川で流域対策を進めるうえで、上流部・中流部はどのような役割を担うのか、考え方を整理していただけると、こちらからも対策実施候補地を提示しやすくなる。

○紀美野町（小川町長）

- ・流域対策の候補地の判断は、我々では難しいと考えている。候補地の助言を国から頂きたい。

○近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所（小谷所長）

- ・本日の協議会はキックオフの位置づけであるため、貴志川の地形特性を説明する目的で現状や課題を説明し、浸水被害が発生しやすい箇所をピックアップしている。対策の詳細については今後議論を深めていく予定である。
- ・上流域での対策は地先の浸水被害軽減に加え、結果として下流域の浸水被害軽減にもつながることから、流域全体で取り組むことが重要である。上流域の対策が下流域のためだけでなく、自らの地域の被害軽減にも寄与する。
- ・貴志川を特定都市河川に指定したが、特定都市河川の指定に関わらず紀の川を含めた流域全体で流域治水に取り組んでいく姿勢に変わりはない。
- ・皆様からのご意見をふまえ、それぞれの市町における役割分担を整理していきたい。

○事務局

- ・流域治水は、集水域、河川区域、氾濫域において様々な対策メニューがある。それぞれの市町においてどのような対策が可能か、今後担当者会議を通じて提案させていただく。